

企画名	冬水田んぼで田植えをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富沢 崇 (事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第1弾。地域住民の力で里山を保全します。
日時	2019年5月18日(土) 8:30~12:00
プログラム・概要・ルート等	冬でも水をはっておく冬水田んぼは、田んぼをめぐる生きものにやさしい田んぼです。そんな生態系保全型の田んぼで、子供たちを含む地元住民の参加を得て、田植えをしました。今年子ども部会が発足し、241名の参加となりました。 子ども部会は黒米の一種である稀珍黒米を、ものがたり文化の会(宮沢賢治の童話を劇にして演じているグループ)はむらさき黒米を植えました。その他の外部参加者はトラスト会員と一緒にもち米とうるち米を植えました。人数が多いので、あっという間に終わりました。かき氷を食べたあとは、泥んこ大会。泥んこリレー・泥んこ相撲が開催されました。子ども部会のお母さん手作りのクッキーメダルをもらって、満足そうでした。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 201名(会員40名、外部参加者:大人79名、子ども82名) スタッフ 40名



並んで、並んで。さあ、1, 2, 3!



田んぼいっぱい参加者!



リレーは盛り上がりました。



泥んこ相撲は大熱戦。女子の部もありました。

参加者や実施団体の感想	賞品のメダルクッキー、2個もらった!(小学2年生) 最初は泥が気持ち悪かったけど、結構楽しかった。(小学3年生) なんと241名もの参加となり、駐車場の手配や豚汁の準備が大変でした。うれしい悲鳴です。(主催者)
-------------	---

企画名	手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 松本勝英 TEL&FAX：04-7187-1704 ホームページ： http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2019年6月22日（土）10：00～12：00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴木代表から本日の予定、講師の大島健夫さん(千葉県生物多様性センター)からモンドリやガサガサの説明。 ・ モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 ・ 講師の大島さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのかなど。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	一般参加 58名（大人 29名、子ども 29名） 会員スタッフ 20名（会員 18名、講師 2名） 合計 78名
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年も多く参加者が集まってくれた。リピーターが増えているのが特徴的。 ・ 当日は雨模様でスタートとなったが、持ち直し、最後までもったのでよかった。 ・ 生き物は年々減っている印象だが、今年は特に種数も捕獲数も少ない。魚類は稚魚が多かったが、講師から「今年は全体的に遅れている」との解説があった。 <確認できた生き物> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在来種……モツゴ、ギンブナ、メダカ、スジエビ、テナガエビ、トンボヤゴ(トンボ科アカネ属の仲間)、イトトンボヤゴ、アジアイトトンボ、アオモンイトトンボ、コガネグモ ・ 国内移入種…ツチフキ ・ 国外移入種……タイリクバラタナゴ、カラドジョウ、シナヌマエビ、チュウゴクスジエビ、ミシシippアカミミガメの卵

企画名	かかし作り・かかし祭り
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 (事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第2弾。 かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。
日時	①かかし作り 7月25日(木)、7月28日(日) 9:00~14:00、8月6日(火) 9:00~11:00 ②かかし祭り 8月17日(土) 9:00~11:00
プログラム・概要・ルート等	かかし作りには、3日間にわたり16体のかかしを作りました。子ども部会のお父さんが作ってくれるかき氷を食べながら楽しく作りました。 かかし祭りはうだるような暑さの中、たくさんのご家族が参加してくれました。かき氷が人気で、かき氷はすべて売り切れしました。子ども部会の2体と外部参加者の1体が入賞しました。後日美味しい新米が贈呈されます。 手賀沼トラスト理事長の遠藤先生から冬水田んぼと生態系についての講義があり、子供たちも熱心に聞いていました。
参加対象	一般市民
参加人数	①かかし作り 7月25日(木) スタッフ3、一般参加者: 大人3、子ども15 7月28日(日) スタッフ3、一般参加者: 大人16、子ども25 8月6日(火) スタッフ1、一般参加者: 大人2、子ども1 ②かかし祭り 8月17日(土) スタッフ10、会員65、一般参加者: 大人9、子ども9



オリンピック・パラリンピック



トラストシンデレラ







お米をまもるにこにこトトロ



生態系のお勉強

参加者や
実施団体の
感想

*はじめてかかしを作ったけど、難しかった。でも、だんだん易しくなった。
 *かき氷がおいしかった。シロップをいっぱいかけたらおいしかった。
 *入賞してうれしかった。来年も作る!





企画名	手賀沼をもっときれいに！—せっけんいろいろ実験&体験—
実施団体	団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL：04-7185-1469
目的	我孫子市は、環境にやさしい石けんの利用を推進している。さまざまな実験や体験を通して「家庭でせっけんを使うことの意義」を伝える。
日時	2019年7月20日（土）1回目13:00～14:30、2回目15:15～16:45
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっけんの優れているところは？ ・ 合成洗剤に含まれている蛍光増白剤を見る。 ・ P R T R法で合成洗剤成分が指定されていること、家庭から排出されるのは合成洗剤が60%以上を占めることを伝える。 ・ ハミガキ実験で、せっけんと合成洗剤の違いを体験する。 ・ DVD鑑賞：ミドリゾウリムシへの合成洗剤の影響、まとめのDVD“私たちに何ができるのかな？”を見る。 ・ 手賀沼の生き物とせっけんの関わり、ガシャモクとカイワレの育成実験を見る。 ・ 毎日どのようにお皿を洗っていますか？（よごれのふきとりで排水をきれいに） ・ プリプリせっけんを作って洗ってみよう。
参加対象	親子（5年生以上は単独参加可）
参加人数	一般参加64名（大人30名、幼児1名、小学33名） 会員スタッフ11名（協議会委員9名、市職員2名）
 <p>最初に「せっけんをすすめるわけ」を伝えました</p>	
 <p>蛍光増白剤って？</p>	
 <p>ふき取り実験：水の汚れを比較</p>	
 <p>カイワレとガシャモクへの影響の違いを見る ガシャモクの配布</p>	
参加者や実施団体の感想	【参加者の感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 親子で環境を考えるいいきっかけになりました。大人も考えるべき内容で参加してよかったです。 ・ プリプリ石けんを使用してみたいです。ガシャモクを是非増やしてみたいです。 ・ ふき取り実験やハミガキ実験が面白くてびっくりしました。

企画名	カブトムシを探そう、クワガタを探そう
実施団体	団体名 船戸の森の会 問合せ先 玉田千代子、七尾 忠 TEL : 04-7184-5866 Email : nanao@k2.dion.ne.jp
目的	船戸の森を通して、地域の子どもと大人と一緒に、カブトムシ・クワガタを探すことで、自然を大事にすることと、生命の尊さを実感するとともに、家族のコミュニケーションを深める。
日時	2019年7月28日(日) 10:00~12:00 船戸の森
プログラム・概要・ルート等	① 船戸の森の自然観察とカブトムシ・クワガタ探しをする。 ② カブトムシ・クワガタに関するクイズにより、知識を習得する。 ③ 参加者全員に、会員飼育の我孫子産クワガタ、カブトムシをプレゼントする。
参加対象	地域の子どもと大人
参加人数	一般参加 37名 (大人 15名、子ども 22名) 会員スタッフ 10名 総計 47名



参加者や実施団体の感想	<p>当日は、台風6号が、襲来し、関東には大雨が降り、とてもイベントが、できる見通しが立たず、キャンセルが続出しました。それでも子どもたちの実施に対する熱い気持ちを受け止め、思い切って実施に踏み切りました。それが運よく好天を呼び、参加者は、総勢49名と例年に比べ少ないものの、元気あふれる会合となりました。</p> <p>特にカブトムシ、クワガタも全員に行き渡り、松本さんのお話も身近に聞くことが出来、育てるための質問も熱心でした。</p> <p>・参加者はカブトムシ・クワガタを通して、「自然・森を大事にし、命の大切さ、家族の絆を確かめ合った」有意義な一日だったと思います。</p>
-------------	--

企画名	冬水田んぼで稲刈りをしよう	
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 (事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp	
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらった連続企画の第3弾。 みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。	
日時	2019年9月7日(土) 8:30~13:30	
プログラム・概要・ルート等	一般参加者は紫黒米を、子ども部会は稀珍黒米を、手賀沼トラストの会員は、もち米・うるち米を刈り取りました。 稲刈りを終えた子供たちは、虫捕り大会に参加。今年は何れだけ多くの種類を捕まえられるかで競いました。 かき氷が大人気。何杯もお代わりをした子供もいました。 暑くて大変な稲刈りでしたが、無事刈り終わりました。	
参加対象	一般市民	
参加人数	一般参加 65 名 (大人 34 名、子ども 31 名)、会員 88 名、スタッフ 20 名、計 173 名	
		
	<p>わたちも運ぶわよ。</p>	<p>ブーム沸騰、昆虫食。イナゴの佃煮。</p>
		
	<p>虫捕り大会の一コマ。</p>	<p>やっぱりこれ！ シロップもっとかけて。</p>
参加者や実施団体の感想	総勢 173 名、昨年の記録を破り、過去最大の規模で稲刈りができました。暑い日で、かき氷がとぶように配られました。子どもたちも熱心に稲刈りをしました。でも、一番楽しかったのは、「虫捕り」、美味しかったのはかき氷だったそうです。 子ども部会の会員が作ってくれたイナゴの甘辛煮も好評でした。	

企画名	手賀沼親子体験ヨット乗船会（我孫子）
実施団体	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ</p> <p>問合せ先 楠 富夫 TEL：090-7835-6755 Email：kusunoki.tomio@gmail.com ホームページ：http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
目的	セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する
日時	2019年9月21日（土）9:30～16:30
プログラム・概要・ルート等	<p>事前準備 AD(アクセスディンギー;小型ヨット)の搬入 （柏市管理2艇を陸路搬入、我孫子市管理2艇を水路搬入）</p> <p>8:00 運営スタッフ漁協棧橋前集合、役割分担について説明 8:45 役割分担に基づき、各自準備 9:00 AD4艇、シカーラ2艇艀装準備 9:00 午前の部受付開始 15分の待ち時間の間、スタッフがライフジャケットの装着指導 9:30 体験乗船開始 参加者の乗船時間…15分 15:30 午後の部も午前と同様のサイクルを繰り返し終了 15:45 艇の艀装解除、装備品の整理 16:30 我孫子市管理ADを水路搬出、柏市管理 AD を陸路搬出</p>
参加対象	市内居住の小学生・中学生・保護者
参加人数	一般参加 85 名(小学生 41 名、幼児 12 名、大人 32 名)、スタッフ 18 名
	 <p>おおぜいのスタッフが安全を確認し運営</p>  <p>熟練のスタッフの指導でパパの出番も！</p>  <p>希望者は幼児でもモーターボートで水上遊覧が出来ます。「ハスの処まで行ったよ」</p>  <p>ハスの茎から糸が出てきた！どうしてかなあ</p>
参加者や実施団体の感想	<p>大勢のスタッフが、担当の役割を手際よく丁寧に、ウィットに富む声かけで進めていました。子ども達もパパやママも皆さん「楽しかった!!」「こんなに水際に行く体験はできないから」と満面の笑顔。貴重な体験をしてもらうための周到な準備や鮮やかな操船技術に感謝と感動でした。（取材：手賀沼流域フォーラム実行委員会事務局）</p>

<p>企画名</p>	<p>手賀沼水辺探検</p>		
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 荻野 茂 TEL: 080-2386-3669 Email: ogino-s@rio.odn.ne.jp</p>		
<p>目的</p>	<p>3. 11 以降、手賀沼に生育するプランクトンや魚貝類、水生植物に触れる学習機会がなくなった。親水事業は美しい手賀沼にするためにも欠かせないもので、子どもを対象に手賀沼の魚とりの実践を踏まえ、その感動を味わってもらおう。</p>		
<p>日時</p>	<p>2019 年 9 月 29 日 (日) 13:00~15:00 手賀沼フィッシングセンター周辺手賀沼</p>		
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>①広場でこれからのスケジュール・注意事項等の説明及び講師紹介。 ②モンドリ (カゴ網) の使い方の指導後、各自のモンドリを手賀沼棧橋付近に設置。 ③漁師さんの定置網漁を橋の上から観察。 ④漁師さんから手賀沼に棲んでいる魚介類の話。水がきれいだった頃と汚れた頃、北千葉導水できれいになった現在の違い、現況では特定外来種のチャネルキャットフィッシュやミシシッピーアカミガメが増えている。 ⑤モンドリの引き上げ作業後、入った魚を仕分けし、自分たちが捕った魚を観察、説明を聞く。→「手賀沼の魚」のリーフレット (手賀沼流域フォーラム作成) を活用し、観察した魚やエビ類等をチェック。 ⑥獲った魚は家で大切に育てる条件で子ども達に渡し、特定外来種を除き沼に戻す。 ⑦確認した種 魚類 15 : モツゴ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、ツチフキ、オイカワ、ハス、ハクレン、ニゴイ、タイリクバラタナゴ、タモロコ、チャネルキャットフィッシュ、カムルチー、コウライギギ、ヌマチチブ、ワカサギ エビ類 2 : スジエビ、テナガエビ その他 : ミシシッピーアカミガメ、ヒメタニシ</p>		
<p>参加対象</p>	<p>子供と保護者を含め何方でも</p>		
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 62 名 (大人 30 名、子ども 32 名 [19 家族]) スタッフ 29 名 (会員 7 名、講師 1 名、手賀沼水生生物研究会 10 名、手賀沼流域フォーラム実行委員会事務局 1 名、東大大学院永野研究室 5 名、手賀沼まんだら 5 名)</p>		
	<p>モンドリを仕掛ける前に魚が逃げないように点検しました。</p>		<p>仕掛けたモンドリを引き上げ、バケツに収穫した魚を移しています</p>
	<p>獲れた魚を種別ごとに水槽に分類しました。</p>		<p>手水研の古川講師から参加者が獲った魚の説明を熱心に聞いていた</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>・子ども達は、初めて手にしたモンドリを興味深く点検し、自分の獲った魚の説明を熱心に聞き、楽しかったとの声が多数あった。また、アメリカナマズやミシシッピーアカミガメや、カムルチー、ハクレンの大型魚に驚きながら大騒ぎで観察していた。 ・手賀沼水生生物研究会とのコラボ行事は、関係者の多大な支援があり成功裏に終了。</p>		

企画名	川めぐりと木下の史跡散歩			
実施団体	団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 齊藤清一 TEL : 04-7183-9815 ホームページ : http://abikonobunka.sakura.ne.jp/			
目的	船からの視察と史跡巡りで、多賀沼の現況を知り手賀沼環境保全を考える機会とする。			
日時	2019年10月10日(木) 11:20~15:30 集合：印西中央公民館(11:15)			
プログラム・概要・ルート等	印西中央公民館で参加者に本日の目的と流れを説明 【環境講話】 美手連作成の「手賀沼の外来水性植物の対策」レジュメを基にスタッフが説明し、関連して手賀排水機場設備を見学、施設職員から説明を聞く。総計約40分 【川めぐり】 印西観光協会の説明で、11名ずつ2艘に乗船し、手賀沼の現況を船から見学。 ルート：弁天川 ⇒ 手賀川 ⇒ 下手賀川 ⇒ 手賀川 ⇒ 六軒川の4川めぐり 約60分 【木下の史跡散策】 印西ふるさと案内人協会の協力により、木下河岸の歴史や地域の文化、貝化石を含んだ貝層(木下貝層)などの説明を受ける。 ルート：中央公民館前 ⇒ 木下河岸跡 ⇒ 印西市立木下交流の杜歴史資料センター ⇒ 木下交流の杜広場と木下万葉公園 ⇒ 木下貝層 ⇒ 上町観音堂(堂内の厨子には銅造十一面観音立像安置) ⇒ 木下駅解散 約150分			
参加対象	我孫子市民			
参加人数	一般参加18名(大人)、会員スタッフ4名 計22名			
		 <p data-bbox="630 1485 901 1518">ポンプ設備の展示模型</p>	 <p data-bbox="1364 1238 1396 1518">お弁当を食べながら見学</p>	
	 <p data-bbox="518 1552 550 1809">2艘の船で川めぐり</p>	 <p data-bbox="614 1809 901 1843">木下河岸を遥かに望む</p>	 <p data-bbox="1364 1552 1396 1832">貝層の石で作った灯籠</p>	
	【参加者の感想】 天候に恵まれ、ペースも合い、とても充実した一日でした。近い所にこんな良い所があったなんて驚きました。爽やかな秋の一日を過ごすことができました。	【スタッフの感想】 手賀沼が木下地区の産業や文化、人々の生活に大きな影響を及ぼしたことを学びました。「手賀沼の外来水性植物の対策」レジュメを使って手賀沼の自然環境の現況を説明し、あらためて多くの参加者が大切さを感じられたと思います。		
	参加者や実施団体の感想			

企画名	手賀沼賞 エコ・こども教室		
実施団体	団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 荻野 茂 TEL: 080-2386-3669 Email: ogino-s@rio.odn.ne.jp		
目的	我孫子市の小・中学校の生徒を対象に、教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」の中から選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子ども達に発表機会を設けると共に、多くの人達に作品の成果を広める。		
日時	2019年10月20日(日) 9:30~15:00 アビスタ第1学習室&ストリート		
プログラム・概要・ルート等	<p>【口頭発表大会】アビスタ第1学習室 9:30~12:00</p> <p>①我孫子市小・中学校夏休み科学作品展受賞17作品の中から、発表5作品を選び、その研究成果をプロジェクターで発表した。</p> <p>②発表内容についてコメンテーターが講評した。</p> <p>③発表者には表彰状(A3版)、発表作品概要(A1版)、図書カードを授与した。</p> <p>【エコイズ大会】アビスタストリート 9:30~15:00</p> <p>①発表作品をアビスタストリートに展示し作品内容を題材にしたクイズを実施した。スタッフがクイズ解答へのアドバイスを実施した。</p> <p>②クイズ参加者全員にパウチした名刺大の特製野鳥カードをプレゼントした。 子ども達は野鳥カード欲しさに積極的に親と一緒にクイズに参加した。</p>		
参加対象	どなたでも		
参加人数	参加者 403名(発表会 40名、クイズ大会 363名) スタッフ 14名 合計 417名		
発表風景	発表会場	発表者の皆さん	
親子でクイズに挑戦	研究の説明にすごいと感動	野鳥カードが大人気、選ぶの迷う	
参加者や実施団体の感想	①夫々のテーマを持った研究内容と事前準備された発表内容に聴衆は感動していた。 ②参加した子ども・保護者は、クイズを通して受賞作品の内容に感心していた。 ③「手賀沼賞 エコ・こども教室」は今回で12回目を迎えることができた。発表者本人、保護者、学校の全面的な協力が得られたことに感謝している。特に発表者の堂々としたプレゼンテーションは何回も準備した現われでありその努力に感服した。		

企画名	森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう		
実施団体	団体名 船戸の森の会 問合せ先 玉田千代子 TEL：04-7182-2018		
目的	船戸の森を通して、地域の子供と大人と一緒に、自然に親しみ、自然を大事にすることを体験するとともに、家族のコミュニケーションを深める。		
日時	2019年10月21日（土）10:00～12:00 船戸の森、手賀沼ファーム		
プログラム・概要・ルート等	①船戸の森の自然観察と森の整備(枯れ枝集め、枯れ枝の整理) ②枯れ枝をリヤカーに積んで手賀沼ファームまでみんなで運ぶ。 ③みんなで並んでサツマイモほりをする。 ④焚き火を囲んで、食パンを焼いて食べる。		
参加対象	地域の子どもと大人		
参加人数	一般参加 29名（大人 13名、子ども 16名） 会員スタッフ 10名 総計 39名		
 <p>2019.10.20</p>	台風後の好天に、恵まれました	 <p>2019.10.20</p>	枯枝を集め、リヤカーに積みました
 <p>2019.10.20</p>	サツマイモ掘りに、みんな夢中です	 <p>2019.10.20</p>	サツマイモを、たくさん掘りました
参加者や実施団体の感想	台風後の好天に恵まれましたが、参加者が少なかったのが、残念でした。10月秋の行事が重なったのが一因です。参加者は、サツマイモ掘りに夢中になり、家族みんなで、土の香りを十分味わいながら、楽しいひと時を過ごされました。初めて参加した人から「子どもが、前の日から眠られなかった」との話しも伺い、期待の大きさに驚きました。来年以降は、実施日を考えるとともに、募集方法も工夫したいと思いました。		

<p>企画名</p>	<p>谷津の秋を観察しよう</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市岡発戸・都部の谷津を愛する会 問合せ先 田島 友昭 TEL・FAX： 04-7188-8778</p>	
<p>目的</p>	<p>秋の谷津を巡って、多くの生き物と谷津の自然の豊かさを感じてほしい。</p>	
<p>日時</p>	<p>2019年10月26日(土) 10:00~12:00 谷津作業小屋前集合</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>講師：柄澤保彦さん 谷津作業小屋前にて、担当者（鈴木、田島）から本日の説明等につき、柄澤先生の挨拶後スタートした。歩きながら目にした植物や生き物の説明を聞く。 ○ガマの穂と神話・因幡の白兔の話（ガマの花粉を身体につければ皮膚が元どおりに回復すると大国主神が教えて救った） ○バッタ・トンボ・カマキリの持ち方の体験 ○ニホンアマガエルを手のひらに寝かし、静かにお腹を指で擦ると、前足を広げ、寝たようになった。びっくりした子ども達は自分でもやってみた。 ○カマキリの持ち方を教わった子ども達は、カマキリを見つけると早速採って、先生に見せに来た。お母さん達は逃げていた。 ○他にも様々な観察を実施し、最後に作業小屋横のテーブルで、柄澤先生による本日の復習を行い終了した。</p>	
<p>参加対象</p>	<p>どなたでも（全コースを歩ける方）</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 21名（大人12名、幼児6名、小学3名） 会員スタッフ 6名（会員5名、講師1名）</p>	<p>計 27名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>観察会、これからです。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>カタツムリさん、ツノ出して</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>先生、この虫はなに!!</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>もず 百舌の早にえの話</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>観察会はいかがだったでしょうか。</p> </div> </div>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>○昨日までの大雨で、谷津でも水路が増水し、開催を危ぶんだが、当日は快晴の中行うことが出来た。（実施団体） ○柄澤先生のお話が大変おもしろく、また、子どもがカマキリをこんなに好きなことを知りました。来春にも観察会をやってほしいです。 ○こんな近くにあった谷津の自然を初めて知りました。楽しい観察会でした。</p>	